

No. 641
合併号

広報 **びらとり** 2014 12月・1月 2015

一人ひとりがまちづくりの主役です 輝くびらとり未来につなごう

平取高校・平取小学校 連携クラブ活動 (11 / 18)



特集	平取町長の年頭のごあいさつ		P2
2014年を振り返る	P3	びらとりニュース	P4
まちのひろば	P6	教育委員会からのお知らせ	P8
すこやかだより	P12	図書館へ行こう	P13

New Year's greetings

謹賀新年

the mayor Kawakami



新春を迎え、皆様におかれましては、ご家族共々健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

めまぐるしく社会情勢が変化する中、日本は景気回復の局面に入ったと言われています。しかし、私たちの暮らす地方では、実感がないうまま増税など負担が増加し、将来への不安が払拭されていないと感じた1年でした。
そのような中、町民の皆様が安全で安心して暮らせる「まちづくり」を目指し、多くの取り組みを行って参りました。

昨年的情勢と町の動き

昨年の中でも、待ち望んでいた「びらとり温泉」がリニューアルオープンを経て大変好評を頂いているのは、ひとえに町民の皆様のご理解とご協力によるものと強く実感しているところであります。

また、ブランドとして定着した「びらとりトマト」については、安定した生産と品質の維持に日々努められている農家の方々や関係者の努力によって、昨年も販売額が40億円を超えました。さらに「びらとり和牛」については、北海道総合家畜共進会において、町内の生産者が最優秀賞を獲得するなど、大変喜ばしい出来事もありました。
また、町の公式キャラクター「ビラッキー」は、子どもたちが関わることで誕生し、多くの方に愛され大変嬉しく思います。平取ダムについては、完成までにまだ時間を要しますが、流域住民にとって一日も早い完成が望まれておりますので、早期完成へ向けて要請を続け

て参りました。

平成27年の町政と展望

本年は、国において地方創生を掲げた重要な施策の展開が想定されます。町としても産業と福祉、教育などの対策も含め、さまざまな課題に取り組みしていきたいなればと強い使命を感じているところであります。

また、本年は町の指針である「第5次総合計画」の最終年度でありますので、新たな10か年計画「第6次総合計画」の策定に向け、皆様にさまざまな意見を頂きながら取り組んで参ります。

住みよい町を目指し、町民と議会、行政が一体となり、皆様のご期待に沿うよう、全力を尽くして参りますので、皆様のお力添えをお願い申し上げますとともに、本年が、輝かしく良き一年となりますよう心からご祈念申し上げます。

平取町長 川上 満

新春をお慶び申し上げます

町議会	議長	鈴木修二
同	副議長	安田功二
同	議員	櫻井幹也
同	議員	丹野信一
同	議員	四戸正彦
同	議員	松澤以久子
同	議員	貝澤真澄
同	議員	千葉良則
同	議員	松原俊幸
同	議員	山田一明
同	議員	藤澤佳宏
同	議員	平村公子
(議席順)		
代表監査員		山田和博
農業委員会	会長	宮入 司
教育委員会	委員長	本間稔浩
選挙管理委員会	委員長	遠藤裕昭
公平委員長		佐々木 孝
国保運営協議会	会長	安田功二
民生児童委員協議会	会長	福原謙吉
副町長		泉澤敏裕
教育長		松本周次

2014 年を振り返る

1月

- 消防出初式（振内町）
- 成人式
- 冬休み子どもクッキング

2月

- 義経雪あかり
- 全道PKグランプリ
（84チーム 約600人参加）



○初午祭

- 住民参加型高齢者生活支援等
推進事業住民意見交換会

3月

- 井戸端寺子屋会議in平取
- 平取町民大学修了式

4月

- 町民交通安全の日開始
- 高齢者大学合同入学式

5月

- 北海道日本ハムファイターズ
野球教室
- 振内婦人防火クラブ解散式



- 振内町民ラジオ体操1000日
大会

6月

- すずらん観賞会
- グリーンフェスティバル
- 商工会青年部主催街コン
- 二風谷アイヌ文化博物館
入館者数60万人達成

7月

- びらとり温泉ゆからグラウンド
オープン



- 全道消防操法訓練大会にて
平取消防団全道優勝

8月

- 義経神社例大祭
- チブサンケ
- ふれあい広場
- 北海道大学大学院農学研究院
北海道大学大学院農学院・北
海道大学農学部との連携協定
調印式

9月

- 戦没者追悼式
- びらとり沙流川まつり
- 町民マラソン大会

10月

- 全町老人の集い
- トマト・和牛フェア2014
- びらとり町食育セミナー
- びらとりミュージックフェス
ティバル

11月

- 秋の叙勲
- 村上晃氏旭日双光章授章
- 野口幸紀氏瑞宝単光章授章
- 文化祭
- 道民芸術祭「合唱祭」
- 町づくり住民大会



- 12月
●成年後見制度セミナー
- ボランティアの集い

消防

全国の舞台で1年間の成果を発揮!

平取消防団 全国大会で奮闘

「消防団の甲子園」とも呼ばれる「第24回全国消防操法大会」に、平取消防団が北海道代表として出場してきました。

11月8日、東京都で開催された「第24回全国消防操法大会」に北海道代表として出場してきました。

47都道府県から各代表が集まり、北海道代表はポンプ車の部24チームとの熱戦を繰り広げました。大会2日前に都内に入り、前日から長時間にわたる事前練習やリハーサル、レセプションをこなし、大会に挑みました。

残念ながらチームとしての入賞は逃しましたが、指揮者の福澤肇さんが優秀選手賞を受賞。日本一の指揮者として表彰され、輝かしい功績とともに「北海道」・「平取消防団」を強く印象付けることができました。

全員が1年間厳しい訓練に打ち込めたのも、訓練場所を提供いただけた平取カントリー倶楽部様を始め、ご協力いただき、支えてくださった多くの皆さまのおかげです。この技術と精神力を土台に今後の平取町に貢献していきたいと思っております。

たくさんのご声援ありがとうございました!

総指揮者	田中 護	団長
旗手	本間 稔浩	第3分団長
指揮者	福澤 肇	班長(第4分団 振内町)
1番員	川上 修平	団員(第1分団 本町)
2番員	松下 雅英	団員(第2分団 荷負)
3番員	本間 義明	団員(第3分団 貫気別)
4番員	福澤 孝彦	団員(第4分団 振内町)
補助員	長野 由樹	団員(第2分団 荷負)



1. 平取消防団のメンバー
2. 優秀選手賞を受賞した福澤肇班長

勲章

長年にわたる功績が評価されました！

秋の叙勲 2 人の方が授章

文化の日に平成 26 年秋の叙勲が発表され、村上晃さん（札幌市）が旭日双光章を、野口幸紀さん（小平）が瑞宝単光章を授章しました。（以下敬称略）

むらかみ あきら きよくじつそうこうしょう
村上 晃（旭日双光章 地方自治功労）



昭和 42 年から平成 18 年まで、10 期 40 年にわたり町議会議員として従事され、うち副議長を 1 期 4 年（昭和 50 年～54 年）、議長を 2 期 8 年（昭和 54 年～62 年）務められました。

基幹産業である農業振興のため、化学肥料に頼る農業ではなく、牛を導入する有機農業を議会で取り上げました。

「常に町民の代弁者としての意識を忘れず、町民の生活安定を基本に考えた 40 年間でした」と振り返られていました。

のぐち ゆきのり ずいほうたんこうしょう
野口 幸紀（瑞宝単光章 消防功労）



昭和 45 年門別町消防団団員として入団し、昭和 48 年組合発足と同時に、日高西部消防組合消防吏員として拝命以来、40 年の永きにわたり消防業務に専念されました。

火災等災害のない町づくりを目指し、その豊富な知識と経験をもって、消防職団員の技術の向上と士気の高揚に積極的に取り組むとともに、火災予防の普及と地域防災に尽力してきたことは、消防関係者をはじめ、地域住民等しく認め敬意を表すところであり、その功績は誠に顕著であります。

勲章の種類および授与対象について

明治 8 年 4 月に「勲章従軍記章制定ノ件」（太政官布告第 54 号）が公布され、これが現在の旭日章の基になったもので、我が国の勲章制度の始まりとなっています。

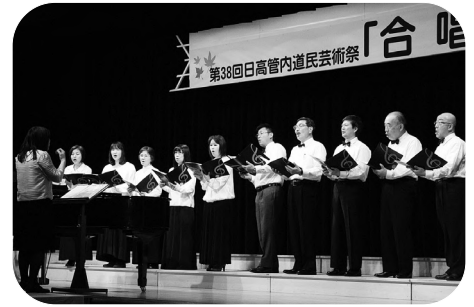
以降、明治 9 年に菊花章、明治 21 年に瑞宝章と宝冠章、また、昭和 12 年には文化勲章が制定されました。

勲章の授与の基準については、「勲章の授与基準」（平成 15 年 5 月 20 日閣議決定）に定められており、社会の様々な分野における功績の内容、果たした職務の複雑度、困難度、責任の程度等について評価を行い授与されます。

道民芸術祭「合唱祭」(11/15)

北海道文化団体協議会主催・町文化連盟主管による第38回日高管内道民芸術祭「合唱祭」が中央公民館で行われました。

管内7町7団体の合唱サークルが練習の成果を披露したほか、アトラクションとしてヴァイオリニストの武田朗秀さんによるヴァイオリン演奏が行われました。



義経なるこ会創立 20 周年記念行事 (11/15)

町内のよさこいチーム「平取義経なるこ会」が創立20周年を迎え、これを記念した行事が中央公民館で行われました。

会場では、結成当初から現在までの活動を記録した写真の展示や映像の上映、現在のメンバーによる演舞の披露が行われました。



平取高校・平取小学校 連携クラブ活動 (11/18)

平取高校トマトクラブの生徒たちが平取小学校を訪れ、トマトジャムクッキー作りの調理実習を行いました。今年度初めて実施されたこの取り組みは、地産地消を体験的に学び食育の推進活動につなげることがねらいで、「びらとりトマト」を活用した新レシピ作りを行っているトマトクラブが町教育委員会からの依頼を受けて行われました。



平取ダム建設事業の早期完成を求める総決起大会

主催／平取町・平取ダム建設促進期成会 共催／平取町議会



平取ダム建設事業の 早期完成を求める総決起大会 (11/30)

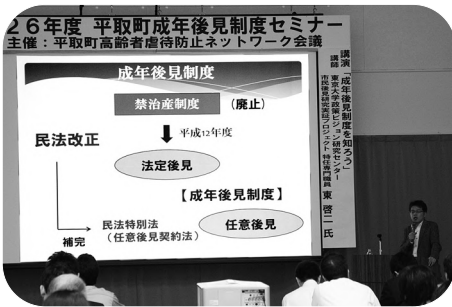
平取ダム建設促進期成会と町主催による総決起大会が中央公民館で行われました。

大会には町民と関係者約70名が参加し、平取ダムの早期着工、早期完成に向け、予算の確保と事業の推進を要望する決議を採択しました。

町づくり住民大会 (11/30)

町自治振興会と交通安全推進委員会の共催による「町づくり住民大会及び交通安全住民の集い」が中央公民館で行われました。松浦大史門別警察署交通課長による軽快な交通安全講話の後、スポーツコメンテーター(元日本ハムファイターズ投手)の「岩本勉氏」の特別講演が行われました。





成年後見制度セミナー (12/2)

町高齢者虐待防止ネットワーク会議の主催による成年後見制度セミナーが、ふれあいセンターびらとりで行われました。

「成年後見制度を知ろう」と題し、成年後見制度の概要や現状の問題点、今後の在り方についての講演が行われました。

ボランティアの集い (12/4)

地域のボランティア活動の推進や、ボランティア活動に参加できる体制づくりの構築、ボランティア団体等の相互の連携を図ることを目的とした「ボランティアの集い」が、ふれあいセンターびらとりで行われました。

参加者は、消防平取支署職員を講師に招いた救命講習や講話で学習を深めていました。



平取福祉会創立 30 周年記念式典 (12/6)

社会福祉法人平取福祉会の創立 30 周年記念式典が振内町民センターで行われ、活動に貢献した団体へ感謝状の贈呈を行いました。社会福祉法人平取福祉会は、昭和 58 年に設立の認可を受け、以来「すずらん福祉園（現 障害者支援施設すずらん）」・「平取かつら園」・「ケアハウスしずか」を開所し地域福祉の向上に努めてこられました。



農業新規参入者の渡邊邦衛さん優秀賞受賞

(公財) 北海道農業公社が主催する、平成 26 年度新規就農優良農業経営者表彰事業で、渡邊邦衛さん（振内町）が優秀賞を受賞しました。

この表彰は、次代の北海道農業の担い手の模範となる、優れた経営を実践されている新規参入者や農業後継者を表彰しています。



電源立地地域対策交付金事業

二風谷発電所・岩知志発電所・奥新冠発電所の影響緩和のために、電源立地地域交付金が交付されています。

今年度は、平取町国民健康保険病院の厳しい経営を緩和するために、病院運営費へ電源立地地域対策交付金 513 万円を充当しました。今後も経営改善を図るため病院運営費への充当を検討します。



教育委員会からのお知らせ

わかる喜びの体感 学習方法の工夫改善のために

★平成 26 年度全国学力・学習状況調査結果から★

今年 4 月、文部科学省は例年同様に全国の小学校 6 年生と中学校 3 年生の児童生徒を対象に、国語、算数・数学の 2 教科で「全国学力・学習状況調査」（すべての児童生徒対象：悉皆調査）を実施し、8 月に調査結果が公表されました。これを受け、道教育委員会でも調査結果を分析・考察し、全道平均正答率・管内別平均正答率を 11 月末に公表しております。この調査結果を基にした当町の児童生徒の平均正答率の概要（全国平均比も含む）は下表のとおりです。

平成 26 年度全国学力・学習状況調査結果～平均正答率との比較～

*小A・中A：主として「知識に関する問題」 *小B・中B：主として「活用に関する問題」

区 分	全国平均正答率からみた				全道平均正答率からみた				日高管内平均正答率からみた			
	平取町の平均正答率との比較				平取町の平均正答率との比較				平取町の平均正答率との比較			
	小A	小B	中A	中B	小A	小B	中A	中B	小A	小B	中A	中B
相当高い +7以上									算数	国語		数学
高い +5～+7									国語		数学	国語
やや高い +3～+5					算数	国語					国語	
ほぼ同様上位 +1～+3	算数	国語		数学	国語	算数	数学	数学				
ほぼ同様 -1～+1	国語	算数	国語	数学			国語	国語				
ほぼ同様下位 -3～-1												
やや低い -5～-3												
低い -7～-5												
相当低い -7以下												

★教科に関する調査結果から 記述問題に課題があることが明らかに！

小中学校ともに、基礎基本問題を中心に確かな力が着実に身につけてきている状況にあります。下位層もほぼ全国平均と同様の数値になっています。全国平均とはほぼ同様、全道平均とはほぼ同様上位の結果であり、各学校での取り組みや個人（家庭）の取り組みが少しずつではありますが成果を上げている状況にあります。問題に対する無解答も非常に少ない状況で、意欲的に問題に挑戦している姿がうかがえます。残念ながら、主として活用に関する問題における記述問題では、国語科での 2 つの条件や 3 つの条件に基づく記述や算数数学科での説明記述の正答率が全国同様に低く、今後の指導の中で日常的に取り組んでいくという課題が明らかになりました。

★児童生徒質問紙による学習状況に関する調査 生活リズムの確立を！

家庭学習を 1 時間以上取り組む児童が 4 割、生徒は 7 割でした。中学 3 年生は小学校 6 年の時の 22% から 73% へと 50% 以上の割合で増加し、生活の中に家庭学習が位置付けてきていることがわかります。家庭での生活時間では小学生では、TV・ゲーム・学習・携帯・読書、中学生では、TV・ゲーム・携帯・学習・読書の順となっています。TV・ゲーム・携帯に割く時間を少なくし、規則正しい生活リズムを確立する必要があります。

★今後に向けて 個に応じた指導の充実と学校・地域・保護者の連携の取り組みの継続を！

調査結果の数値をあげることが目的ではありません。調査はあくまでも児童生徒の実態把握と今後の指導の手立てとするための一つの資料です。一人一人のわかる喜びを体感させるために、どの様に学習方法などを工夫改善していくかが問われています。各学校においては、今後も個に応じた細やかな指導の充実に努めていきます。

そのためにも学校・家庭・地域との連携した取り組みは今後も重要です。ご理解とご協力をお願いいたします。

第 35 回女性の集い ～有意義な一日を過ごしました～

11月12日に第35回女性の集いが242人の参加により開催され、はじめに、ヴァイオリニスト大平まゆみ氏による「音楽の力、母として、ヴァイオリニストとして」と題しての講演では、「音楽は全く知らない人でも、笑顔にすることができる。その笑顔や出会いを大切にしたい」と話し、さらに、ヴァイオリン演奏に合わせ、唱歌などを参加者が何曲も合唱したときには、とても楽しい雰囲気となり会場が大いに盛り上がりました。



大平まゆみ氏講演



寸劇による詐欺の手口を紹介の様子

午後からは、「詐欺から身を守る極意を学ぶ」と題し、実際の詐欺の手口を実行委員による寸劇により披露し、だまされないためには、“息子に電話してみる”“恥ずかしがらずに誰かに相談する”という対処法を学びました。

その他、芸能発表では舞踊、ダンス等、趣向を凝らした仮装などで会場を沸かせ、全ての内容で女性同士の交流は充分にでき、楽しく一日を過ごしました。

中央公民館ロビーミニ展示 ～ロビーが華やかです～

10月より本町文化協会の協力により、中央公民館ロビーにおいて作品展示を行っています。

1回目は、リリークラフトクラブによる、クラフトテープで作ったバックや、毛糸の編み物、布で作ったポーチを展示し、2回目は、トールサークル My Tree による、トールペイントで彩った壁掛けや、置物などの作品を展示しました。それぞれ、ロビーが華やかになっており、各団体のご協力に感謝します。



リリークラフトクラブ作品



トールペイント MyTree 作品

なお、現在展示しているパッチワーク作品は12月26日(金)までの期間となっておりますので、ぜひご来館のうえご観覧ください。

文化サークル紹介

カントリーサークル

私たちのサークルは、パッチワーク、手芸、簡単洋裁が主です。

活動は農繁期を終えた11月から3月までと期間が短いのですが、数多くの作品を作っています。毎年、文化祭には共同作品を展示しています。10年間の思い出は、みんなで東京国際キルトフェスティバルに行ったことです。

楽しいサークルです。

活動日 月3～4回不定期

活動場所 貫気別生活館

《会員募集中》 連絡先 岡田定子 (☎ 5-5707)

創立年	平成 16 年
代表者	岡田 定子
会員数	14 人



共同作品の前で撮影

教育委員会からのお知らせ

記録を伸ばせ！ ～スポーツ少年団員「体カテスト会」～

11月8日、町民体育館で教育委員会とスポーツ少年団本部の共催により「体カテスト会」を行いました。町内の各スポーツ少年団員を対象とし、今年度は5少年団（本町バドミントン、貫気別バドミントン、義経剣心会、平取野球、振内野球）から計48人が参加しました。



測定種目は、例年どおり日本体育協会が奨励する5種目ですので、これまでの自己記録や全国平均との比較ができ、参加した少年団員は少しでも記録を伸ばそうと真剣に取り組んでいました。

年齢ごとの種目別平均値を見ますと、男子が3分の2、女子が5分の4もの年齢・種目で全国平均値を上回っており、少年団活動でいかに日頃から体力づくりが行われているか、伺える結果となりました。



◇参加者が最も多かった「12歳・男子」9人の平均結果

平均	立幅とび	上体起こし	腕立て伏せ	時間往復走	5分間走
平取町	192.4cm	23.1回	15.1回	42.6m	1,194.4m
全国	177.1cm	22.6回	18.7回	42.5m	1,111.0m

(全国平均は平成26年3月集計)

冬でもプールで大はしゃぎ！ ～リトラビ水泳学習～



教育委員会が主催する「リトラビ」（小学生を対象とした通年開催のスポーツクラブ）で、10～12月にかけて計4回、むかわ町四季の館温水プールでの水泳学習を行いました。

町内のプールは8月で終了していましたが、久々のプールに参加者はみんな大はしゃぎでした。

体育館 日曜日開放のお知らせ

町民体育館・振内青少年会館・貫気別町民センターの各体育施設を、第2と第4日曜日に一般開放しています。どうぞご利用下さい。

開放日時 第2・第4日曜日 9:00～15:00

チセの暮らしを知る ～紫雲古津小学校のアイヌ文化学習～

博物館でのアイヌ文化学習

11月11日、紫雲古津小学校の児童25人が博物館を訪れ、伝統的なチセ（家）の暮らしを体験しました。現在、博物館の周辺には合計9棟のチセが復元されています。

屋外展示施設、アイヌ文化の体験学習施設として活用されているほか、地域住民によるアイヌ語、アイヌ伝統工芸を継承していく拠点にもなっています。

チセでの体験を通して伝統的な暮らしを学ぶ

チセは、様々な暮らしの知恵が詰まった貴重な場所です。南ないしは南西側に設置された窓からどのように光がさすのかといったことや、マキを焚いたときの暖かさ、トマ（ごぎ）に用いられているシキナ（ガマ）の柔らかい感触などを体感しました。

みんなで囲んだ炉縁^{ろふち}では、シラカバの樹皮を用いたマキへの着火、ス（鉄鍋）を用いた湯沸しを実際にやってみました。更に、沸かしたお湯を使って野草を煎じたお茶を飲みました。

野草は全て高学年児童が紫雲古津小学校の裏山で採集したものです。

地域に伝えられている植物利用には、食材利用や薬用効果に関する知識がたくさん含まれています。今回用いたササ、ナギナタコウジュ、ホオの実も、伝統的な暮らしの中で頻繁に用いる植物として重宝されてきました。

今回用いた野草（知里真志保 1953 『分類アイヌ語辞典 植物編』より）

- ・ウリペ (ur ipe：笹葉の・食べ物 チシマザサ) 効能：魚の中毒
- ・セタエント (seta ento：イヌの・小実 ナギナタコウジュ) 効能：カゼ
- ・プシニエプイ (pus ni epuy：矢筒の・木・実 ホオノキの果実) 効能：病気

炉縁でカムイユカラ（神謡）を聞く

当日は、木幡サチ子さんによるカムイユカラの披露も行われました。謡った演目は「チロンヌプアイヌ コチャランケ（キツネのチャランケ）」です。「パウチョーチョパフムフムフム」という“サケへ（繰り返し言葉）”を何度も挟みながらストーリーが展開され、支笏湖にほど近い千歳川を舞台にした神謡です。

かつての暮らしでは、炉縁で語られる口承文芸が日々の娯楽の一つでした。子どもたちは、祖父母に教えてもらう様々な話を通してアイヌ語や教訓、世界観を習得していったのだといわれています。

チロンヌプアイヌ コチャランケ（キツネのチャランケ）のあらすじ

支笏湖の方へ遡上した一匹のサケをキツネ神が食べました。すると人間に罰せられ、悪い言葉を浴びせられました。サケは石狩川の河口を司るピリピリノイエクル、ピリピリノイエマツという夫婦神によって遡上する数が決められています。人間が増やしたものでないにもかかわらず罰せられた、と談判するキツネ神の声を夢で聞いた人がいました。このことを伝え聞いた周りの人たちで相談し、キツネ神に謝罪しました。

学習の効果

今回、学校教育の一環として博物館に来ることで、大事な郷土の歴史・文化であるアイヌ文化を楽しみながら学び、理解を深めることができたのではないのでしょうか。チセの炉縁に座って室内の雰囲気味わうことで、より印象深い授業になるものと考えます。



目指せ!!はつらつ健康

すこやかだより

Health Information

**これからの時期は要注意!
知っておきたいノロウイルス**

ノロウイルスとは...

ノロウイルスとは、小さいウイルスが口に入って感染するもので、食中毒や感染性胃腸炎の原因の一つです。感染経路は人の手や食品から口に入る経口感染です。感染した人の便やおう吐物に直接触ったり、カキなどの二枚貝を生や不十分な加熱処理で食べると感染してしまうことがあります。

流行する時期は秋から冬、潜伏期間は1〜2日で、腹痛や下痢、おう吐など消化器症状のほか、37〜38℃の発熱も出ることがあります。症状は1〜2日と短期間ですが、ウイルスの排出は1週間以上続くため、症状がおさまっても周りの人に移さないよう注意が必要です。

かかったときの治療方法

今のところ、有効な治療法はないので、脱水にならないよう注意しながら症状がおさまるのを待ちます。特に子どもや高齢者は脱水になりやすいので、少しずつでも水分を補給しましょう。早めに医療機関を受診することもおススメします。

ノロウイルス予防のために

予防のキーワードは3つ。「手洗い」「加熱」「消毒」です。



◆手洗い

外出から戻った時、食事の前、調理の前などはもちろん、感染者の便やおう吐物などの処理後、オムツ交換の後にも十分な手洗いをしましょう。

◆加熱

ウイルスを完全に殺すためには、食品は85℃以上で1分以上加熱しましょう。特に、カキなどの二枚貝は十分な加熱が必要です。

まな板や包丁、ふきんなどの調理器具も加熱して、乾燥してから片付けることで二次感染を防ぐことができます。

◆消毒

ノロウイルスにはアルコール消毒は効果がありません。感染者の排泄物の処理や消毒には、「次亜塩素酸ナトリウム」で殺菌しましょう。

実はこの次亜塩素酸ナトリウムですが、家庭用の塩素系漂白剤のことです。原液を薄めて使いますが、ペットボトルがあれば簡単に作ることができます。

簡単にできる ノロウイルス消毒液の作り方



濃度が5%の塩素系漂白剤の場合（市販されているもの濃度）

①ドアノブや調理器具、便座などには0.02%に薄めます。

↓2ℓペットボトル1本の水にペットボトルキャップ2杯分（10ml）の原液を入れる。

②便やおう吐物が直接ついた場所や衣類などには0.1%に薄めます。

↓500mlペットボトル1本の水にペットボトルキャップ2杯分の原液を入れる。

◆注意点

・作るときや使用時には、注意事項を読み、十分に換気をしましょう。

・時間が経つと効果が落ちることがあるため、その都度使い切りましょう。



家庭内の感染を防ぐために

◆排泄物の処理の仕方

家族の中で感染者が出たときは、おう吐物などの処置を十分に行いましょう。

①使い捨ての布や、ペーパータオルで外側から内側に拭き取ります。チリとなつてウイルスが広がるのを抑えるため、静かに拭き取ります。

②拭き取ったらすぐにビニール袋の中に入れ、0.1%消毒液を染み込む程度入れます。

③汚染された場所は、同じく0.1%消毒液を浸した布で拭きます。

④10分程度放置したら水拭きをしましょう。

※作業時はマスクと手袋、エプロンが必須アイテムです。※処理が終わったら、手袋をしていても手洗いはしっかりと行いましょう。



【お問い合わせ先】

保健福祉課 保健推進係

（ふれあいセンターびらとり内）

☎ 4・6112

図書館へいこう 平取町立図書館

ふれあいセンターびらとり・3階

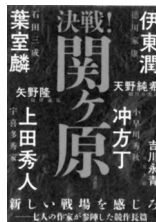
○開館時間 火～金曜日 10:00～18:00 土・日曜日 10:00～17:00
 ○休館日 月曜日・祝日 ※月曜日が祝日の場合は、その翌日も休館。
 TEL 4-6666 FAX 4-6871 〻 risu2@guitar.ocn.ne.jp



新着図書のお知らせ

【小説・エッセイ】

『決戦!関ヶ原』／伊東潤、葉室麟ほか
 『探偵少女アリサの事件簿 溝ノ口より愛をこめて』／東川篤哉
 『ナオミとカナコ』／奥田英朗
 『認知の母にキッスされ』／ねじめ正一
 『水やりはいつも深夜だけど』／窪美澄
 『私の命はあなたの命より軽い』／近藤史恵
 『インデックス』／誉田哲也
 『陰陽師 螢火ノ巻』／夢枕獏
 『GOSICK BLUE』／桜庭一樹
 『鳩の撃退法 上・下』／佐藤正午
 『オリンポスの神々と7人の英雄 4』／リック・リオードン



【家庭・生活・趣味】

『きほんのラッピング便利帳』／包むファクトリー
 『熟成ケーキ』／磯貝由恵
 『おいしい!やわらかレシピ うまくかめない、かむのがつらい人に。』／河野雅子
 『いつでも手づくりルームシューズ』／日本ヴォーグ社



【社会・経済・その他】

『僕たちの国の自衛隊に21の質問』／半田滋
 『地方消滅』／増田寛也
 『新聞は、あなたと世界をつなぐ窓 N I E 教育に新聞を』／木村葉子



「ぼく・わたしが選ぶこの一冊」本のしょうかいカードを展示します

町内の小学生が自分で選んで読んだ本を絵と文章を使って紹介する取り組み「ぼく・わたしが選ぶこの一冊」を、昨年度に引き続き読書活動推進事業として実施しました。

参加者の児童に作ってもらった「本のしょうかいカード」を、12月24日(水)から、紹介してくれた本といっしょに館内に展示します。児童の力作をごらんいただき、紹介してくれた本を読んでみてください。また、展示作品の中から金賞以下の受賞作を選ぶにあたり、皆さまの投票をいただきます。

会場に設置している投票用紙に該当する作品をご記入くださいますようお願いいたします。

○投票受付期間

12月24日(水)～平成27年1月18日(日)

※図書館内での展示は引き続き行います。



図書ワゴン（移動図書館車）運行日程【1月】

8日（木）【貫気別地区】

10:45～11:15 荷負 遠藤和江さん宅前
 11:30～12:00 貫気別生活館
 13:15～13:45 芽生生活改善センター
 14:00～14:30 旭生活館

9日（金）【振内地区】

11:00～12:00 山の駅ほろしり館
 13:15～13:45 岩知志ふれあい館
 14:15～14:45 豊糠生活改善センター

- 利用者カードがなくても、ご利用できます。
- 貸出期間は、**次回の巡回日まで**になります。
- 本の返却、不用な本のご寄贈も受け付けます。

1月の休館日

1～5・12・13・19・26日

2月の休館日

2・9・11・16・23日





■日高管内道民芸術祭「合唱祭」(11/15)

役場関係電話番号

- 平取町役場 (本庁)
- 総務課(代表) ☎2-2221
- まちづくり課 ☎2-2222
- 産業課 ☎2-2223
- 税務課 ☎2-2224
- 出納室 ☎2-2225
- 建設水道課 ☎2-2226
- 議会事務局 ☎2-2227
- アイヌ施策推進課 ☎2-2341
- 農業委員会・土地改良区 ☎2-2695
- ふれあいセンターびらとり ☎4-6111
- 保健福祉課 ☎4-6112
- 町民課 ☎4-6113
- 児童館 ☎2-3026
- 子ども発達支援センター ☎2-3400
- 地域包括支援センター「ほほえみ」 ☎2-3700
- 平取町社会福祉協議会 ☎4-2267
- 図書館 ☎4-6666

- 平取町教育委員会
- 中央公民館 ☎2-2619
- 町民体育館 ☎2-2749
- 二風谷アイヌ文化博物館 ☎2-2892
- 沙流川歴史館 ☎2-4085
- 役場振内支所 ☎3-3211
- 役場貢気別支所 ☎5-5204
- 平取町国民健康保険病院 ☎2-2201
- 平取町外2町衛生施設組合 ☎2-2024
- 日高西部消防組合平取支署 ☎2-2361

平取町公式ホームページ



QRコード

句 俳 実 の 楯

氣嵐や褪せど翳濃き海難碑
 枯鶏頭持てばさみしき種こぼす
 持ち寄りて漬物談義秋日和
 気は急くも手は鈍くなり暮早し
 短日や図書館を出る人ばかり
 柳葉魚荒れ夜の雷鳴長かりき
 それぞれの愚痴も流して初時雨
 あれこれと考えつかず暮れ早し
 霜降るや花片付けて造花置く
 初時雨捨てし邑にも小川にも
 一人居の詫びしきつの夜長かな
 墨硯一年ぶりです文化祭
 少しずつ視線ずらして今朝の霜

柴田 紫梢
 渡辺 正子
 遠藤 紫光
 内海 綾子
 長野 新一
 山崎 喜峰
 石森 礼子
 川上 八重子
 千葉 俊子
 吉野 千佳女
 中道 サト
 西塔 しずえ
 井内 青風



まちの人口と世帯数		
人口	5,485人	(△11)
男	2,669人	(△11)
女	2,816人	(○)
世帯数	2,647世帯	(△11)

()内は前月比 11月末現在

交通事故発生状況	
発生件数	5件 (1)
死者数	1人 (0)
傷者数	5人 (0)

()内は前年比 11月末現在

死亡事故ゼロ日数 306日

発行／平取町総務課広報広聴係 ☎055-0192 北海道沙流郡平取町本町28番地
 ホームページ <http://www.town.biratori.hokkaido.jp>
 Eメール info@town.biratori.hokkaido.jp
 ☎(01457)2-2221 FAX(01457)2-2277